

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	自他のよさを認め、人権問題を解決する行動力を育てる 教育活動の工夫
----------	--------------------------------------

○調査研究のテーマを設定した目的

本校は、「知・徳・体の調和のとれた心身ともにたくましい喜多の子どもを育てる」という教育目標の下、「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」を目指している。令和4年度に開校150周年を迎え、思いやりの心を持ち、集団や社会のルールをしっかりと守る児童になってほしいという保護者や地域の願いから、未来の地域社会を担う児童の育成のため、学校、家庭、地域がさらに一体となった人権・同和教育の推進に努めなければならないと考える。児童数は年々減少しているものの、本校児童は、同学年の友達をはじめ、たくさんの人と接する機会があり、明るく意欲的に活動する傾向にある。しかし、最近では、新型コロナウイルス感染症予防対策により、異学年との交流や地域と連携した体験活動など、十分に行えていない状況である。児童の人間関係もやや狭くなり、配慮に欠けた言動によるトラブルやいじめの事案などが起きている。

そこで、児童の発達段階に応じた実態や人権課題を検証した上で、本校の人権・同和教育を推進していくため、児童対象の人権意識に関するアンケートを実施した。その結果、「一人一人違うのは当たり前」「差別はいけない」など、知識的な理解は比較的高い傾向にあるが、その反面、いじめの解決に向けた行動力や人の役に立ちたいという意欲や態度には課題があることが分かった。また、自己肯定感も高いとは言えない。これらの実態を踏まえ、まずは人権尊重の理念を全ての教育活動の基盤とし、系統的な人権学習を充実させることで、自ら差別に気付くことのできる人権感覚を育てたいと考えた。そして、互いを認め合いながら他者と協働する中で、自己肯定感を育み、自他を尊重しながら共に人権問題を解決しようとする行動力を育てたいと考え、本研究テーマを設定した。

○調査研究の概要

同和教育をはじめとする様々な人権課題に関わる教職員研修を充実させることにより、指導者自身の人権意識を高め、人権・同和教育の視点を明確にした授業改善、指導力の向上に努める。教科等横断的な学習計画の下、「協力的」「参加的」な授業実践を重ね、人権が尊重される集団づくり、環境づくりに努めることで、児童の人権感覚や自己肯定感の育成を図り、自ら実行しようとする行動力を育てる。家庭や地域と連携することで、学校だけでなく家庭、地域が一体となった人権・同和教育を推進する。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

大洲市立喜多小学校

○これまでの研究指定等の状況

なし

○学級数

22 学級（うち特別支援学級：4）

○児童生徒数（R.5.5.1）

全児童数：499 名

○URL

<https://ohzu-kita-e.esnet.ed.jp>

○指定理由

本校では、平成 29 年に改訂された「大洲市いじめの防止等のための基本的な方針」を受けて、人権・同和教育の充実を基盤とした「学校いじめ防止基本方針」を策定し、命の尊厳に気付き、互いを認め合い、支え合う人間関係づくりに努めている。また、自分の得意なことを発表できる「喜多っ子集会」をはじめ、児童の主体性を尊重した教育活動を基盤に、毎年、人権参観日や人権講演会、人権学習会、隣保館学習会を行うなど、地域に根差し、児童の発達段階に応じた系統的な人権学習を推進している。

大洲市では、小学生を対象とした隣保館学習会や、教職員や高校生を対象とした「人権学習フィールドワーク」を実施しており、隣保館を身近に感じる地域の中で、市内の人権の歴史や人権活動に携わった人物の功績から学びを深めている。愛媛県の水平社支部の設立から 100 年目を迎える今年は、部落差別の解消に向けた機運が高まっており、大洲市においても教育によって真の解決を目指す思いは熱い。人権学習を通して身に付けた力を、児童が積極的に家庭や地域に発信し、自分たちの行動によって身の回りの課題を解決することができる体験を積み重ねることは、あらゆる人の人権を大切にしたいふるさとの未来を担う人材育成に大きく寄与するものである。

11 月には、研究発表会を開催し、県内外から多くの参加者と学校の成果を共有し、広く啓発することも期待できることから、研究指定校にふさわしいと考える。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題1つに◎印を付与

①子供	○
②女性	
③高齢者	○
④障害者	○
⑤同和問題	◎
⑥アイヌの人々	
⑦外国人	
⑧-1 HIV 感染者等	
⑧-2 ハンセン病患者等	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	
⑭その他 ()	

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

ア 一人一人の教職員が差別の現実から深く学び、問題点や気づきを語り合うようなワークショップ形式の研修等を充実させることで、教職員の人権意識を高め、差別解消に向けた確固たる姿勢を確立することができるであろう。

イ 「協力的」「参加的」な授業づくりや人権が尊重される集団づくり、環境づくりに取り組むことで、児童の人権感覚が磨かれ、自己肯定感の向上や人権問題の解決に向けた行動力の育成へとつながるであろう。

ウ 家庭や地域と共に行う学習や情報発信を行い、PTA活動や地域の諸団体との連携を図ることで、学校・家庭・地域のつながりの中で、児童の人権意識の向上が図られるであろう。

県教育委員会では、指導主事による訪問指導等を通じて連携を図り、本校の児童や地域の実態に応じた研究の方向性や在り方について、助言や援助にあたる。

○実施方法

ア 教職員の人権意識や指導力を高める現職教育の充実

(ア) 差別の現実に学び、人権感覚を磨くための研修

同和問題については、講師を招請し、差別解消に向けての取組や現在の課題から、教職員としての姿勢、指導の在り方について研修を深めた。職員研修では、輪番制による人権・同和教育ミニ研修の時間を確保した。社会における人権問題や自己研修で得た情報などを持ち寄り、全教職員で共有したり、ワークショップ形式で話し合ったりして人権感覚を磨く場を持った。また、夏季休業中に隣保館で開催される人権セミナーや夏季研修会、県教育委員会主催のオンライン研修へも積極的に参加し、各自の学びをアウトプットする場を設けて、教職員の人権意識の向上に努めた。

(イ) 教科等横断的な学習を進めるための諸計画の見直し及び作成

「第三次とりまとめ」を基盤にして諸計画の改善を図った。年間指導計画は、人権・同和教育の視点で全教科の内容を検討し、効果的な教育活動が展開できるように、道徳科や特別活動の配列についても見直した。また、系統性に重点を置き、総合単元構想図や人権課題別一覧表も作成して、授業に生かしてきた。

イ 人権問題の解決を目指した人権意識を高める教育活動の工夫

(ア) 総合単元構想を基にした「協力的」「参加的」な授業づくり

教科等横断的な視点から総合単元的に人権学習を構想し、児童が自分事として主体的に考えられるように「協力的」「参加的」な授業づくりに努めた。

(研究発表会における焦点授業から) ※【 】…工夫した点

○ 第1学年 道徳科「二わのことり」(友情、信頼)

相手の痛みや悲しみに気づき、友達を思って行動する姿について考えることを通して、思いやりを持って自分にできることをしようとする態度を育てる。

【ハート図を活用しての話合い、相手の思いに気付かせる役割演技】

- 第3学年 道徳科「島ひきおに」（公正・公平、社会正義）

相手の心の痛みや外見、先入観で判断することの誤りに気付かせることを通して、相手の本質を見つめるとともに、誰に対しても公正、公平に接しようとする態度を育てる。

【偏見や思い込みに気付かせる発問、役割演技の工夫、学級活動との関連】

- 第6学年 社会科「町人の文化と新しい学問」

命を掛けてまで汚染一揆を起こした理由を考えさせ、人間としての誇りを守るため百姓と同等の権利を求めて行動した生き方を学ぶことを通して、差別を許さず正しいことをしようとする態度を養う。

【村人の思いに迫る発問やグループでの話合い、道徳科「山の粥」との関連】

- (イ) 自己肯定感を高める生活集団づくり

- 集会活動及び児童会活動の工夫

昨年度、児童会を中心にいじめのない学校を目指して「喜多っ子なかま宣言」を作成した。週の始めや全校集会などで唱和したり、この宣言を基にいじめ防止に観点をおいた学級目標を設定したりして、全校児童が意識できるようにした。また、人権委員や生活委員など各委員会を中心に、人権的視点の内容を取り入れた集会を計画し、よりよい学校生活や人間関係を築いていくため、積極的に呼び掛けたり考えさせたりした。

- 温かい人間関係を育む「ハッピーウィーク」の実施

「ハッピーウィーク」と名付けたいじめ0強調週間では、人権委員が温かい言葉遣いを呼び掛けたり、自他のよさや頑張りをカードに書いたりする活動を行った。また、日々の生活で心が温かくなった出来事を手紙に書き、校内放送や掲示、ホームページを通して広く紹介したことで、周りの人への感謝の思いが高まった。

- モラルスキルを磨く「ココロタイム」の実施

毎月1回、朝学習の時間にモラルスキルトレーニングを位置付けた。発達段階や重点内容項目に合わせて内容を決め、ペアやグループで話し合う場を設けた。

- 他者意識を育む異年齢交流活動の工夫

ペア学年での交流活動を定期的に取り入れた。「なかよしDAY」を設定して、休み時間に遊んだり、集会で一緒に話し合ったりして、異学年の相手を思いやる気持ちやみんなで助け合う大切さを実感できる場を持った。

- 生活アンケートの実施と教育相談

児童対象の学校生活アンケート（毎月）や保護者対象のいじめに関するアンケート（毎学期）の実施により、いじめの早期発見に努めた。また、全校一斉に教育相談の時間を設定し、アンケートだけでは見えない悩みや相談に対応した。

(ウ) 児童の人権意識を育むための環境づくり

学校全体で、人権が尊重される雰囲気をつくっていくため、児童の目に触れる場所に人権コーナーを設置した。集会後の児童の感想や人権メッセージ、人権ポスターなど掲示物の充実を図った。保護者が来校する参観日や個人懇談前には、全校児童のよさや頑張りが記されたハッピーツリーを多目的ホールに掲示したことで、多くの保護者が学校の取組に目を向ける様子が伺えた。

ウ 家庭及び地域とのより一層の連携

(ア) 人権学習に関わる双方向性のある情報発信

ホームページをはじめ、校報、学年通信を通して、人権学習に関わる授業や集会などの取組を積極的に紹介した。学年参観日や人権参観日については、児童の振り返り用紙に保護者記述欄を設けたことで、多くの保護者から意見をいただくようになった。さらに、校報や学年通信に掲載したことで、学校と保護者、保護者同士の学びへと広がり、今後の教育活動に生かすことができた。

(イ) 家庭・地域を巻き込んだ人権教育の実施

学年参観日について、人権的な視点での内容も含まれるように見直し、読み聞かせボランティアや大洲警察署、市の危機管理課などに依頼して地域と共に学びを深める場を持つようにした。また、人権参観日では、保護者と児童と一緒に考えたり、児童の声をより近くで聞いたりできるように授業形態を工夫した。

(ウ) P T A や地域の諸団体との連携

○ P T A 専門部（思いやり研修部）による講演会の実施及び人権標語の募集

「思いやり研修部」が中心となり、人権参観日に合わせて人権コンサートを実施したり、保護者対象の人権標語を募集して掲示したりするなど、家庭における人権を尊重しようとする意識の啓発を図った。

○ 隣保館や読み聞かせボランティアとの連携

4年生以上の希望者による隣保館学習会では、学力の定着を図るだけでなく、館長の講話や人権に関するグループワークにより、いじめや差別を許さない心情が高まったと感じられる。また、読み聞かせボランティアのプログラムに人権的視点での内容を位置付けていただいたことで、定期的読み聞かせや読書集会、学年参観日（2年生）で、自他を大切に思いやる心情を育むことができた。

4. 検証・評価・改善・普及

<検証・評価・改善>

ア 教職員の人権意識調査や授業評価による指導の在り方の検証

11月の意識調査では、「人権に関する研修に積極的に取り組んでいるか」「自身の人権意識は依然と比べて高揚したか」との問いに対し、肯定的な回答が100%であった。人権・同和教育の研修の場を増やしたことやミニ研修や専門部での定期的な話し合い、校外での自己研修による成果と考えられる。一方、「児童の人権意識の育成のため、教材研究や指導方法を工夫しているか」との問いについては、肯定的な回答が96%であったが、自信を持って答えた教職員は68%であった。授業研究の際、授業評価シートを使って授業展開や指導方法の在り方について協議を重ねてきたが、更により手立てがあったのではないかと考えるからだと推察する。一人一人の教職員の人権意識や授業改善が、児童の人権意識の向上につながることから、今後も、教職員で協議する場や教材研究の時間の確保に努めていきたい。

イ 児童対象の人権意識調査による三つの側面からの変容の検証

令和5年5月と9月、令和6年1月に人権意識アンケートを実施した。

(ア) 知識的側面からの比較・検証

「全ての人大切にされないといけないと思うか」との問いに対し、肯定的な回答は93%から97%に増えた。「いじめや差別はどんな理由があってもいけないと思うか」という問いについても、同様に94%から98%に増えた。しかし、全ての児童が確実に肯定すべき内容である。一人一人の児童を把握し、家庭と連携しながら「誰もが大切な存在」という人権尊重の思いを高めていく必要がある。

(イ) 価値的・態度的側面から自己肯定感の比較・検証

本校の課題である自己肯定感に関わる「自分にはよいところがあるか」という問いで、肯定的な回答が86%から88%へとやや増え、更に自信を持って答える児童も増えてきた。「友達のよいところを見付けようとしているか」についても、同様の傾向(94%から96%)であった。特に、自信を持って答える児童が75%、78%、80%と確実に増えている。「協力的」「参加的」な学習に重点を置き、他者と関わる楽しさや協働的に学ぶ達成感を味わえるような授業づくり、ハッピーウィークをはじめ、異学年交流などによる温かい人間関係を育む集団・環境づくりの成果だと推察する。

(ウ) 技能的側面からの比較・検証

「人が困っているとき、進んで助けているか」という問いでは、肯定的な回答94%から95%、「いじめや差別を見たとき、注意したり助けたりできるか」については、5月と同様91%であった。また、「みんなのことを考えて役に立つことをしているか」では、93%から92%とやや減少していた。児童自身が、自分の行動を冷静に見るようになったと考えることもできるが、自分に何ができるか考え、他者を思っ

具体的にどのような行動に移すかというコミュニケーションスキル不足が懸念される。児童の人権感覚は養われつつあると感じるが、行動力を育てるためには、今後も、全教育活動を通して、児童自らが課題に気づき、話し合いによって問題を解決する活動や自分にできることを模索し、実践に移す経験を積むことが必要である。

ウ 人権学習に対する保護者の意見や学校評価の結果を検証

人権参観日や学年参観日において、児童の学習振り返り用紙に保護者欄を設けたことで、ほとんどの家庭から意見をいただいた。授業を参観していなくても「子どもから話を聞いて家でも話し合った」という家庭もあり、保護者の願いや教育方針を知ることは、家庭と学校が一体となった教育活動の推進に有効であった。また、7月と12月に実施した学校教育に関する調査の「お子さんは、友達を大切にし、思いやりのある行動ができているか」との問いでは、肯定的回答が97.2%から97.4%と、わずかな変化ではあるが、学校と家庭が両輪となって、相手の立場や思いを考えて行動しようとする態度の育成に取り組んでいることが伺える。

<普及>

ア 校報や学年通信、ホームページで、学校の取組や児童の学びを今後も発信する。特に、人権参観日については、保護者や地域の方から今後も感想いただき、双方向の情報交換を通じた連携の強化を図りたい。

イ 校内の人権コーナーを定着させ、参観日や懇談の機会を通して児童の学びを保護者啓発につなげる掲示の工夫に努める。

ウ P T A理事会や児童生徒をまもり育てる会をはじめ、地域との協議会において、双方向の連携を図る。

5. 人権教育に係る年間指導計画

第1学年 人権・同和教育年間指導計画

		低学年の目標		〇 決まりをよく守る 〇 誰とでも仲良くできる		〇 相手の気持ちを考える 〇 自分の考えが言える		重点的個別の人権課題		◎同和問題 子ども・高齢者・障がい者 インターネットによる人権侵害		
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科	国語	どうぞ よろしく(国) 【子ども】 <コミュニケーション> 新しい友達と楽しく話をしようとする意欲を持たせる。	がっこう だいすき (生)【子ども】 <共生社会> 学校は、たくさんの友達や学校生活を支えている人々がいるから、楽しいところであることに気付かせる。	きれいに さいてね(生)【子ども】<生命尊重> きれいな花を咲かせたいという思いを持ち、大切に植物の世話をしようとする態度を培う。	いきものと なかよし (生)【子ども】 <生命尊重> 虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、生き物を大切にしようとする心情を育てる。	たのしいあきいっぱい【いっしょにあそぼう】 (生)【子ども】<共感的理解> 交流する園児の気持ちを想像しながら、一緒に楽しむおもちゃを工夫して作ろうとする意欲を持たせる。	ぼくと シャオミン 【外国人】 <異文化理解> 他国の文化に興味を持ち、自分たちと異なる文化の良さを感じていく積極的な態度を育てる。	はしのうえのおおきみ【子ども】 <人間関係の調整> 身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	二わのこどり 【子ども】 <人間関係の尊重、共感的理解> 友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていくこととする心情を育てる。	かっちゃん 【障がい者】 <自他の尊重、共生社会> 障がいのある人に偏見を持ちたり差別をしたりすることなく、共に生き、共に学び合おうとする心情を培う。 (きょうだい)	ええところ 【子ども】 <自尊感情> 自分の特徴に自信を持ち、誇りにする心情を育てる。	もうすぐ2ねんせい (生)【子ども】 <共生社会> 1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、協力して生活しようとする意欲を高める。
	道徳科	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	おそぼろ【同和問題】 <自他の尊重> 自分とは、性格や考え方が異なる友達がいることを知り、互いに認め合おうとする心情を育てる。 (きょうだい)	みんな いっしょ 【子ども】 <人間関係の調整> 自分の好き嫌いとらわねず、みんなに同じように接しようとする心情を育てる。	かやねずみのおかあさん【子ども】 <信頼関係> 家族の優しい心遣いや努力に感謝し、敬愛の念を持つこととする心情を養う。	かやねずみのおかあさん【子ども】 <信頼関係> 一人一人が自分の力を出し切ることの大切さを知らせ、協力しようとする態度を育てる。	ころはっぱ 【子ども】 <人間関係の調整> 友達と進んで関わり仲良くしようとする心情を育てる。	カマキリが バッタ たぶるで【子ども】 <生命尊重> 一つの命は、いろいろな生命をもつて生かされていることに気付かせ、生命を大切にしようとする気持ちを育てる。 (きょうだい)	いっしょに 【子ども】 <生命尊重> 友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていくこととする心情を育てる。	二わのこどり 【子ども】 <人間関係の尊重、共感的理解> 友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていくこととする心情を育てる。	かっちゃん 【障がい者】 <自他の尊重、共生社会> 障がいのある人に偏見を持ちたり差別をしたりすることなく、共に生き、共に学び合おうとする心情を培う。 (きょうだい)	ええところ 【子ども】 <自尊感情> 自分の特徴に自信を持ち、誇りにする心情を育てる。
特別活動	学級活動	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	いじめ0に向けて 【子ども】 <自他の尊重> 学習目標を決める話し合いを通して、よりよい学級にしようという意欲を高める。	いじめ0に向けて 【子ども】 <自他の尊重> 学習目標を決める話し合いを通して、よりよい学級にしようという意欲を高める。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。	みんなどち 【子ども】 <夢や目標> 互いによく知り仲良くしようとする態度や仲間意識を持たせる。
	児童会活動	入学式	1年生を迎える会 楽しく委員会に参加し、学校という集団への所属意識を持たせる。	代表委員会 (いじめ0に向けて) 学級の目標を発表することで、いじめを許さない気持ちを育てる。	水泳記録会壮行会 代表選手を応援する気持ちを持たせる。	代表委員会 (運動会スローガン) 参加意欲を高め、楽しい運動会にしようという気持ちを持たせる。	人権集会 自分や周りの人の大切に気付き、豊かな人権感覚を育む。	人権集会 仲間とつながり合う喜びを感じ、よりよい人間関係づくりの促進を図る。	募金活動 募金の目的を理解し、自分のできることを考えさせる。	募金活動 募金の目的を理解し、自分のできることを考えさせる。	喜多子ピカリン集会 種々の良さに気付かせ、互いを認め合えるようにする。	6年生を送る会 仲間と協力して、6年生への感謝の気持ちを伝えられるようにする。
	学校行事	入学式 希望を持って学校生活を送ろうとする意欲を高める。	進足 目的までしっかりと歩いて達成感を得たい。友達と仲良く活動しようとする態度を培う。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。	運動会 競技や演技に取り組みを通して、友達と一緒に活動することの楽しさに気付かせる。
家庭・地域との連携	学習チャレンジ週間 基礎学力の定着を図る。										人権講演会 (PTA専門部) 自分の周りの人の大切に気付き、豊かな人権感覚を育む。	人権標語募集 (PTA専門部) 人権意識を高める。

第2学年 人権・同和教育年間指導計画

		低学年の目標		〇 決まりをよく守る 〇 誰とでも仲良くできる		〇 相手の気持ちを考える 〇 自分の考えが言える		重点的 個別の人権課題		◎同和問題 子ども・高齢者・障がい者 インターネットによる人権侵害			
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科				どきどきわくわく町たんけん(生) 【子ども・高齢者・障がい者】 ＜共生社会＞ 町の自然、施設、店などを調べ、自分たちの生活は、多くの人々と分かち合っていることが分かり、その人々と適切な対応ができるようになる。	スミー(国) 【子ども】＜協力＞ みんなで協力することが大きな力になるとを知り、仲良く協力していこうという気持ちを育てる。					あしたへジャンプ(生)【子ども】＜自尊心・家族愛＞ 自分の成長には家族や多くの人々の支えがあったことに気づき、感謝の気持ちを持つとともに、今後の生活に意欲を持つことができるようになる。	楽しかったよ、2年生(国)【子ども】＜自己の成長＞ 成長した自分を振り返り、多くの人々の支えがあったことに気づかせる。	スーホの白い馬(国)【子ども・同和問題】＜家族愛・命の大切さ＞ 殿様の非人間性や理不尽さを読み取り、権力者のどのような態度を持ってしても、断ち切ることのできないスーホと白馬との深く固い絆に共感できるようにする。	
	道徳科	たんじょう日【子ども】＜生命の尊さ＞ 多くの人に支えられ、守られている自分の命を大切にすることを育てる。	いいちゃんの手【同和問題・感謝】 私たちの生活は、いろいろな人の労働によって支えられていることに気づいて、働く人に感謝する心を育てる。 (きょうだい)	かっぱわくわく【子ども】＜親切・思いやり＞ 国語で習った昔話を、進んで優しく親切にしようとする心構えと態度を育てる。		心と心をつなぐために【子ども】＜自他の尊重＞ 身近な出来事をもとに、互いに理解し合うことの難しさと大切さを実感させる。 (きょうだい)		ぼく【子ども】＜生命の尊さ＞ 生きることを喜び、生命を大切にしようとする心構えを育てる。	誰のともだち【子ども】＜人間関係の構築＞ 友達と互いに仲良く助け合いたいこうとする心構えを育てる。		こへのおともだちへ【子ども】＜親切・思いやり＞ 相手の身になって考えたり仲間として共に助け合ったりしようとする心を育てる。		たんじょう日カード【インターネット】＜礼儀＞ 身近な人々と明るく接し、時と場合に応じた挨拶や言葉遣いをしようとする態度を育てる。
特別活動	学級活動	2年生になって【子ども】＜夢や目標＞ 学級や自分の目標を決め、目標に向かって努力できるようにする。		ともだちにやさしくしよう【子ども】＜思いやり＞ 友達の良いところを見付け、友達に優しくしようとする態度を育てる。				ふわふわ言葉とチクタク言葉【子ども】＜人間関係の構築＞ ふわふわ言葉とチクタク言葉があることを知り、進んでふわふわ言葉を使おうとする態度を育てる。		友だちのよさをみつけよう【子ども】＜自他の尊重＞ 互いの良さを認め合い、自分も友達も大切にしようとする態度を育てる。	おへその役目【子ども】＜命の大切さ＞ おへその役割を知り、生命の大切さを理解できるようにする。		
	児童会活動		1年生を迎える会 1年生を温かく迎えることを通じて、先輩への思いやりの心を育てる。	いじめ0に向けて【子ども】＜自他の尊重＞ 学級目標を決める話し合いを通して、よりよい学級にしようという意欲を高める。	水泳記録会社行会 代表選手を応援する気持ちを持たせる。	代表委員会(運動会スローガン) 参加意欲を高め、楽しい運動会にしようという気持ちを持たせる。	陸上記録会社行会 代表選手を応援する気持ちを持たせる。	人権集会 仲間とつながり合う喜びを感じ、よりよい人間関係づくりの促進を図る。	募金活動 基金の目的を理解し、自分のできることを考えさせる。		喜多っ子ピカリン集会 個々の良さに気づき、互いを認め合えるようにする。	6年生を送る会 仲間と協力して、6年生への感謝の気持ちを伝えられるようにする。	
	学校行事	入学式 1年生の入学を心から歓迎し、上級生としての自覚を持たせる。	遠足 事前に決めた約束を守り、みんなで楽しく過ごせるようにする。		代表委員会(いじめ0に向けて) 学級の目標を発表することで、いじめを許さない気持ちを育てる。	人権集会 自分や周りの人の大切さに気づき、豊かな人権感覚を育てる。		代表委員会(集多っ子なかま宣言) みんなが楽しい学校にしようとする意欲を高める。	運動会 力を合わせて競技や演技に取り組み、協力性を養う。	人権・同和教育参観日 学習を通して、人権意識を高める。	マラソン記録会 学級や自分の目標を決め、目標に向かって努力できるようにする。		卒業式 6年生への感謝の気持ちを持たせる。
家庭・地域との連携	学習チャレンジ週間 基礎学力の定着を図る。										人権講演会(PTA専門部) 自分の周りの人の大切さに気づき、豊かな人権感覚を育てる。	人権標語募集(PTA専門部) 人権意識を高める。	

第3学年 人権・同和教育年間指導計画

		中学年の目標		○ 間違いに気付く ○ みんなで協力して解決する		○ 相手の意見を聞いて考える ○ 差別や偏見に気付く		重点的個別の人権課題		◎ 同和問題 子ども・高齢者・障がい者 インターネットによる人権侵害		
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科			<p>チョウを育てよう(理) 【子ども】(生命尊重) チョウの成長の変化をとらえ、生命あるものを大切にす る意識を高める。</p>			<p>わたしと小鳥とす ずと(国) 【子ども】(個性) 互いの良さを認め 合う態度を育てる。</p>	<p>ちいちゃんのかげ おくり(国) 【子ども】(命の大切 さ) 戦争に対する考え を深めるとともに、 生命の尊さについて 考えさせる。</p>	<p>遊び歌めぐり(音) 【外国人】(異文化理 解) 日本や世界の国々の 遊びの文化を知り、様 々な国の音楽や文化を尊 重しようとする態度を 育てる。</p>	<p>三年とうげ(国) 【同和問題】(思い込 みの解消) 不合理な迷信に惑わ されず、明るく生き ていこうとする気持 ちを育てる。</p>			
		<p>わたしたちのまち、みんなのまち(社) 【子ども】(共生社会) 身近な地域の様子を理解し、地域につ いて関心を持たせる。</p>						<p>店ではたらく人(社) 【高齢者、障がい者】 (共生社会) インターネット は消費者の多様な 願いに対応している ことに気付かせる。</p>				
道徳科		<p>又次スグスグ 【高齢者】(生命尊重) 生命は過去からつな がっていることを知 り、生命を大切にす る心育を育てる。</p>		<p>ひみつの手紙 【インターネット】(人間 関係の調整) 約束や社会の決ま りを守ろうとする態 度を育てる。</p>	<p>わたしの弟 【障がい者】(共感的理 解) 「障がいのある子ど も」を正しく理解し、 共に生きようとする 態度を養う。 (きょうだい)</p>	<p>えんぴつびな 【子ども】(命の大切 さ) 戦争に対する憤り と平和を願う気持 ちを育てる。 (きょうだい)</p>	<p>しょうたの手紙 【子ども】(人間関係 の調整) みんなで協力し合っ て明るく楽しい学校を つくり出す態度を育 てる。</p>	<p>鳥ひきおに 【同和問題】(公正な判 断) 外見や先入観で判断 することの誤りに気付 き、相手の本質を見つ めるとともに、誰に対 しても公正・公平に採 りようとする態度を 育てる。 (きょうだい)</p>	<p>しあわせの王子 【子ども】(異文化理 解) 美しく優しい心に 感動し、それを大切 にしようとする心育 を育てる。</p>	<p>ぼくのおばあちゃん 【高齢者】(共感的理 解) 家族を敬い、家族み んなで協力し合っ て楽しい家をつくら うとする態度を育 てる。</p>	<p>おじいちゃん、おばあ ちゃん、見ていてね 【高齢者】(大切な 命) 生きている今を大切 にして、前向きに一 生懸命生きようとし る心育を育てる。</p>	
		<p>3年生になって 【子ども】(夢や希望) 字級や自分の目当 てを決め、目当てに 向かって努力できる ようになる。</p>	<p>いじめ0に向けて 【子ども】(自他の尊 重) いじめをしない学 級にするために何をし たらよいかを考えさせ る。</p>	<p>自転車教室 【子ども】(生命尊重) 交通ルールや自転 車の正しい乗り方を 知り、安全への意識 を高める。</p>		<p>君の心の119番 【子ども】(自他のよ さ) 友達とじっくり向き 合い、友達の良いと ころを褒めて見付け られるようにする。</p>	<p>いじめ0に向けて 【子ども】(自他の尊 重) 学級の課題につ いて話し合い、解決 できるようにする。</p>	<p>友だちのよいところ 【子ども】(自他のよ さ) 友達や自分の長 さに気づき、自尊心 を高め、自己を大切 にしようとする態度 を育てる。</p>		<p>じゃがいもの歌 【子ども】(個性) 自分の長さを知り、 伸ばしていこうとし る心育を育てる。</p>		
特別活動	児童会活動		<p>1年生を迎える会 1年生を迎えよう と心を育てる。</p>	<p>代表委員会 (いじめ0に向けて) 学級の目標を発表 することで、いじめ を許さない気持ち を育てる。</p>	<p>水泳記録会壮行会 代表選手を応援す る気持ちを持たせ る。</p>	<p>代表委員会 (運動会スローガン) 力を合わせて運動 会をしようという 気持ちを持たせ る。</p>	<p>陸上記録会壮行会 代表選手を応援す る気持ちを持たせ る。</p>	<p>代表委員会 (暑中・夏休み) よりよい学校にし ようとする意欲を 高める。</p>	<p>募金活動 募金の目的を理 解し、自分のでき ることを考えさせ る。</p>	<p>マラソン記録会 目標に向かってあ きらめない気持ち を持たせる。</p>	<p>喜多っ子デカリン集 個々のよさに気 付き、互いを認め 合えるようにす る。</p>	<p>6年生を送る会 仲間と協力して、 6年生への感謝の 気持ちを伝えら れるようにす る。</p>
	学校行事	<p>入学式 1年生の入学を心 から歓迎し、上級生 としての自覚を持 たせる。</p>	<p>遠足 新しい仲間との関 わりを深める。</p>		<p>人権集会 自分や周りの人の 大切さに気付く、豊 かな人権感覚を育 む。</p>		<p>運動会 力を合わせて競技 や演技に取り組 み、協力性を育 む。</p>	<p>人権集会 (暑中・夏休み) よりよい学校にし ようとする意欲を 高める。</p>	<p>人権集会 仲間とつながり 喜びを感じ、より よい人間関係づく りの促進を図る。</p>			
総合的な学習の時間	<p>大好き！大洲 身近な地域の特色やよさを理解し、地域に対する愛情と誇りを持たせる。</p>											
外国語活動				<p>I like blue. 多様な考え方があ ることに気付かせ る。</p>	<p>What do you like? 互いのよさを大切 にすることに気 付かせる。</p>							
家庭・地域との連携	<p>学習チャレンジ週間 基礎学力の定着を図る。</p>											
										<p>人権講演会 (PTA 専門部) 自分の周りの人の 大切さに気付く、 豊かな人権感覚 を育む。</p>	<p>人権標語募集 (PTA 専門部) 人権意識を高め る。</p>	

第4学年 人権・同和教育年間指導計画

		中学年の目標		○間違いに気付く ○みんなで協力して解決する		○相手の意見を聞いて考える ○差別や偏見に気付く		重点的 個別の人権課題		◎同和問題 子ども・高齢者・障がい者 インターネットによる人権侵害		
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科				<p>一つの花(国) 【子ども】(命の大切さ) 戦争時に生まれた家族の家を遺して、平和を願う心構えを育てる。</p> <p>水はどこから(社) 【同和問題】(環境との共生) 飲料水を供給する事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持に立っていることを理解させる。</p> <p>となりのせき 【子ども】(公正な判断) 誰に対しても分け隔てせず、公正、公平な態度で接しようとする心構えを育てる。</p>	<p>ごみのしよりとその利用(社) 【同和問題】(持続可能な社会) 廃棄物を処理する事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持に立っていることを理解させる。</p>	<p>あなたなら、どう言う(国) 【子ども】(コミュニケーション) 自分とは違う立場になって考えることの良さについて気付かせる。</p> <p>自然災害からくらしを守る(社) 【高齢者・障がい者】(環境との共生) 自然災害からくらしを守るため、地域の関係機関や人や、自然災害に押し、様々な役割として役割したり、働きもしたりしていることを理解させる。</p>	<p>ごんごつね(国) 【子ども】(自他の尊重) 「ごん」の慣れ親しむ気持ちに共感することを通して、他人を思いやる心構えを育てる。</p> <p>世界に広がる和紙(国) 【同和問題】(文化の尊重) 我が国の伝統と文化のすばらしさに感動し、大切にすることを育てる。</p> <p>ゆうきの心記 【子ども】(自他の尊重) 相手の置かれた状況や気持ちを考えて、進んで寛容しようとする心構えを育てる。</p>	<p>きょう土のはってんにつくす(社) 【同和問題】(共生社会) 先人の働きや苦心によって地域の生活が向上してきたことを理解させる。</p> <p>体の発達と健康(体)【子ども】(習性の尊重) 体の発育・運動について理解させる。</p>				
	道徳科	<p>なにかお手伝いできることはありませんか?【障がい者】(共感的理解) 相手のことを思いやり、進んで親切しようとする心構えを育てる。</p>	<p>合言葉は「助けば、わかる!」【外国人】(異文化理解) 相手と互いに理解し合い、自分と異なる意見も大切にすることを育てる。</p> <p>友達のおいこころ【子ども】(自他の尊重) 友達のよいところを見付けようとする態度を育てる。</p>	<p>いっしょになって、わらっちゃだめだ【子ども】(尊厳の判断) 差別やいじめのない、平等な生活しようとする態度を育てる。</p>	<p>ぼくのなみだ【子ども】(差別の見極め) いじめを許さず、いじめ解消のために勇気を持って、行動しようとする態度を育てる。(きょうだい)</p>	<p>ほろい(国)【共生社会】 「ほろい」の意味や、自分の気持ちや考え、相手の気持ちを理解し、自分たちでできることを思いやりを持って、行動しようとする態度を育てる。</p> <p>大きな絵はがき【子ども】(信頼関係) 友達と信頼し合い、ときには注意し合いながら気持ちを伝えていることとすることを育てる。</p>	<p>あめられない?とまらない?【インターネット】(公正な判断) 何事もよく考えて行動しようとする態度を育てる。</p> <p>ねしばいをつくって勇気づけよう【高齢者】(感謝) 自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する心構えを育てる。</p> <p>おじいちゃんの仕事【西和問題】(思い込みの解消) 働くことの良さを知り、人の輝かせる姿を感服して、しようとする態度を育てる。(きょうだい)</p>					
特別活動	学級活動	<p>4年生になって【子ども】(夢や希望) 学級や自分の目標を決め、自分で向かって努力できるようにする。</p>	<p>1年生を迎える会 1年生を迎えようとする態度を育てる。</p> <p>募金活動 募金の目的を理解し、自分のできることを考えさせる。</p>	<p>いじめについて考えよう【子ども】(自他の尊重) 差別やいじめのない学級や学校しようとする態度を育てる。</p> <p>代表委員会(いじめ0に向けて) 学級の目標を達成することで、いじめを許さない気持ちを持って育てる。</p>	<p>水泳記録会壮行会 代表選手を応援する気持ちを持たせる。</p> <p>人権集会 自分や周りの人の大切さに気付く、豊かな人権感覚を育てる。</p>	<p>代表委員会(運動会スローガン) みんなで協力して運動会を成功させようとする気持ちを高める。</p>	<p>代表委員会(募金活動) 募金活動の意義や、自分たちでできることを思いやりを持って、行動しようとする態度を育てる。</p> <p>陸上大会壮行会 代表選手を応援する気持ちを持たせる。</p>	<p>人権集会 仲間とつながり合う喜びを感じ、よりよい人間関係を築く力を育てる。</p> <p>人権・同和教育参観日 学習を通して、人権への意識を高める。</p> <p>遠足 集団としての連帯感を持ち、友情を深められるようにする。</p>	<p>募金活動 募金の目的を理解し、自分のできることを考えさせる。</p>	<p>運動会 力を合わせて競技や競技に取り組みませ、協力性を育てる。</p>	<p>マラソン記録会 目標に向かって諦めない気持ちを持たせる。</p>	<p>卒業式 6年生への感謝の気持ちを持たせる。</p>
	児童会活動										<p>星多っぴピカピカ集 個々の良さに気づき、互いを認め合えるようにする。</p>	<p>6年生を送る会 仲間と協力して、6年生への感謝の気持ちを伝えるようにする。</p>
	学校行事	<p>入学式 1年生の入学を心から歓迎し、上級生としての自覚を持たせる。</p>	<p>遠足 集団として目的を持って歩き、友情を深められるようにする。</p>									
総合的な学習の時間												<p>ともに生きる ～今、わたしにできること～ 【高齢者・障がい者】(共感的理解、共生社会) 学習地域の福祉事業を理解し、様々な人と共に生きるために自分ができることを考え、思いやりの心を持って育てる。</p>
外国語活動	<p>Hello, world! 相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合えるようにする。</p>	<p>Let's play cards. 友達を自分の好きな遊びに誘おうとする意欲を持たせる。</p>	<p>I like Mondays. 世界の同年代の子どもたちの生活に関心を持たせる。</p>									
家庭・地域との連携	<p>学習チャレンジ週間 基礎学力の定着を図る。</p> <p>隣保館学習会(4～6年生希望者) 学習支援に努め、一人一人の可能性を伸ばし、基礎学力を身に付けさせる。</p> <p>人権講演会(PTA専門部) 自分や周りの人の大切さに気付く、豊かな人権感覚を育てる。</p> <p>人権標榜募集(PTA専門部) 人権意識を高める。</p>											

第5学年 人権・同和教育年間指導計画

高学年の目標
 ○ 生活の中の矛盾や不合理に気付く ○ 相手の立場で考える
 ○ みんなのために行動する ○ 誰にでも公平にする

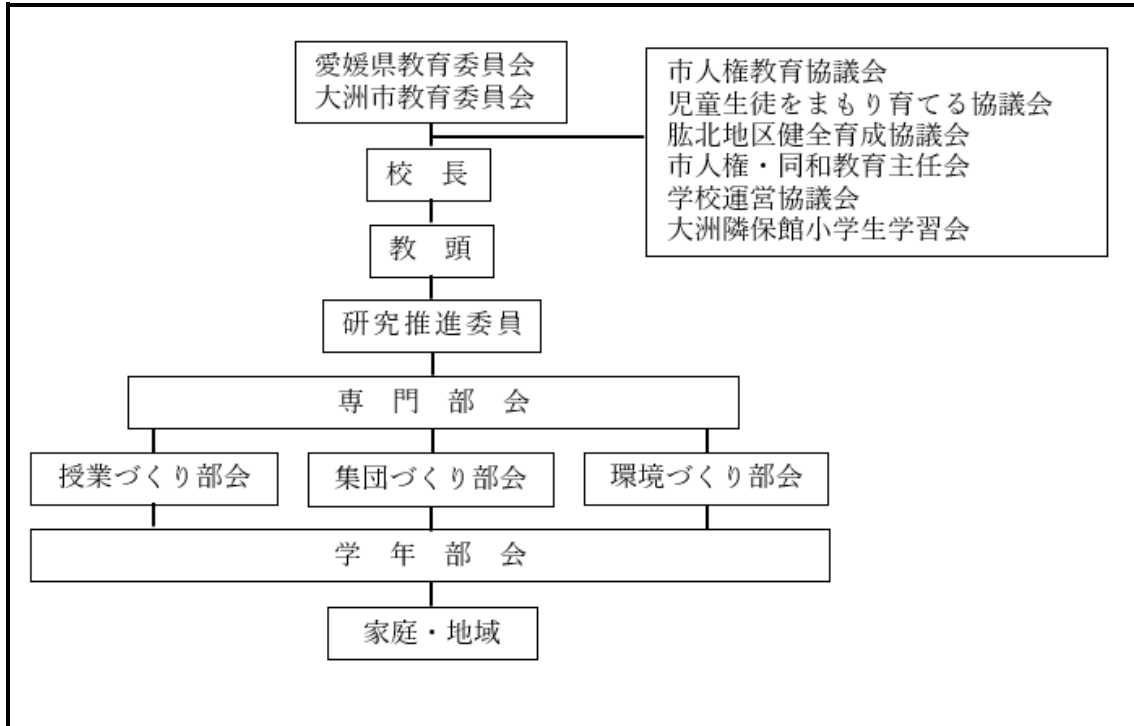
重点的個人権課題
 ◎同和問題
 子ども・高齢者・障がい者
 インターネットによる人権侵害

各教科	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科	なまじつてよ(国) 【子ども】(自らの尊重) 人の気持ちと向き合い、自分ができることを考えて実行することの大切さを感じ取り、人と人の関わり合いについて考えられるようになる。	体ほぐしの運動(体) 【子ども】 (コミュニケーション) 友達との関わりを大切にしながら、体を動かす楽しさや心地良さを感ずられるようにする。	心の健康(体) 【子ども】(自尊心) 思春期には不安や悩みがあり、それらを理解することで、他者の立場を考えると共に、自分よりよい生き方をしようとする心育を高める。	急のたんじょう(理) 【女性】(生命尊重) 生命の連続性についての見方や考え方を深め、生命を尊重する態度を育てる。	たずねと(国) 【子ども】 (人間の尊厳) 物語の全体像から平和と戦争について考え、命の尊さや今後の生き方について考えられるようにする。	Where is the post office?(外) 【外国人】(異文化理解) 世界の地図や標識について考え、世界と日本の文化に対する理解を深められるようにする。	よりよい学校生活のために(国) 【子ども】(自らの尊厳) 友との関係や仲間、考えをぶつかりあうことについて考え、思いやりを育む。	吉良聖徳の世界(国) 【同和問題】 【異文化理解】 古くから伝えられてきた日本の伝統文化に触れ、大切にしようとする心育を高める。	やなせたかーアーンパンマンの真気(国) 【子ども】(夢や目標) 【インターネット】 (公正な判断) 巨額の中の人々の生き方や考え方について話し合う中で、自分の生き方について考えられるようにする。	想像力のスイッチを入れよう(国) 【インターネット】 (公正な判断) メディア上の情報の方について話し合う中で、情報に対する多角的な見方や人権尊重の精神を養う。	人のたんじょう(理) 【女性】(生命尊重) 生命の連続性についての見方や考え方を深め、生命を尊重する態度を育てる。	大進びさんとガン(国) 【子ども】(生命尊重) 仲間を助けようとする気持ちや、勇気を持って戦う姿に感動し、自分自身でできること、大進びさん共感できるようなにする。
道徳科	わたしたちの国土(社) 【外国人】 (異文化理解) 我が国や世界の国土の自然や文化を尊重し、それぞれが持っていることを理解させる。	寒い土地のくらし(社) 【アイス】 (異文化理解) 北海道に伝わるアイヌ文化について調べ、自分たちの文化と比べて、独自の文化への理解を深め、尊重しようとする心育を育てる。	みんなが通こいやすい町へ(国) 【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	その選びか、抱いぶがかな? (インターネット) 【子ども】(公正な判断) 個人情報をインターネットに公開する危険を理解し、責任ある行動を心掛ける態度を育てる。	そういものわたしはなりた(国) 【子ども】(人間の尊厳) 人間の尊厳や尊厳に、人としてよりよい生きる喜びに気付けるようにする。	「新入り大使」 【子ども】(自らの尊厳) 友との関係や仲間、考えをぶつかりあうことについて考え、思いやりを育む。	花かなおひ 【子ども】(公正・公平) 互いに認め合う思いやりを持ち、相手の立場に立ち、公正・公平に接しようとする態度を育てる。(きょうだい)	情報化した社会と産業の発展(社) 【インターネット】 インターネット利用での危険性を知り、情報活用時のルールやマナーを守ろうとする態度を養う。	心のレシーブ 【子ども】(コミュニケーション) 男女互いに話し合うことで関係を育て、協力しようとする態度を高める。	Welcome to Japan. 【外国人】 (異文化理解) 世界に広がる日本文化について考えさせ、世界と日本の文化に対する理解を深められるようにする。	わたしたちの生活と環境(社) 【子ども】(環境と共生) 自然破壊や災害、公害問題について調べ、自分たちでできること、考え、一人一人の協力が重要なことに気付かせる。
道徳科	「ありがとう上手」に 【子ども】(共生社会) 自分たちの生活が、助け合いや協力で成り立っていることに気付く。感謝する心育を育てる。	わたしのボランティア体験(共感の理解) 社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役に立ちようとする心育を育てる。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。
学級活動	5年生になって 【子ども】(共生の理解) 互いの良さを認め合い、助け合おうとする意識を育てる。	インターネット教室(インターネット) 【子ども】(公正な判断) インターネットを利用する際のルールやマナー等について理解させる。(学年参観日)	いじめ0に向けて 【子ども】(人間の尊厳) 学級目標について話し合う中で、差別やいじめのない学級をつくらうとする意識を育てる。	水泳の良さを再発見しよう 【子ども】(生命尊重) 互いの良さを認め合い、よりよい学級をつくらうとする意識を育てる。	大きなことば? (インターネット) 【子ども】(人間の尊厳) インターネット利用のルールやマナーを再確認するとともに、他者を尊重する大切さについて気付かせる。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。
特別活動	児童会活動	1年生を迎える会 1年生を温かく迎えることを通して、他者への思いやりの心を育てる。	代表委員会 (いじめ0に向けて) 学級の目標を発表することで、いじめを許さない気持ちを持って育てる。	水泳記録会壮行会 代表選手を応援する気持ちを持たせる。	代表委員会 (運動会スローガン) 協力し合って、よりよい運動会にしようとする気持ちを高める。	人権集会 自分や周りの人の大切に気付く。豊かな人権感覚を育てる。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。
学校行事	入学式 1年生の入学を喜び、上級生としての自覚を持たせる。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。	【子ども・高齢者・障がい者】(共生社会) 自分たちの地域の福祉・共生に関わる題材について調べ、まとめることで、よりよい社会にしていこうとする意識を高める。

総合的な学習の時間
 わたしたちができること 〈共生社会〉
 地域のよさを知り、地域のひととお菓子づくりの企画をすることを通して、労働の意義を理解する。地域の一人として、町づくりや地域活性化に関わろうとする意識を高め、地域への愛着を深められるようにする。

家庭・地域との連携
 学習チャレンジ週間
 基礎学力の定着を図る。
 人権講演会 (PTA専門部)
 自分や周りの人の大切に気付く。豊かな人権感覚を育てる。
 人権標語募集 (PTA専門部)
 人権意識を高める。

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）



○関連資料

身分の上で差別された人が石庭を考えた

石庭

自分自身で

石庭

石庭の身元
実は龍安寺にある石庭の石の数は15ですが、そのうち14個しか見ることはできません。15という数字は、月が15日で月が満ちると同じです。つまり、完全の中の不完全を意味しているのです。

どんなものか?
石と砂で山や谷を表現している彫

どこにあるの?
龍安寺寺の寺の庭

なぜできたの?
身分の上で差別された人

誰が作った?
世界遺産に登録されている

感想は?
和風な感じがして落ち着く感じ

【施行ツールを使ったまとめ】